



# JABの広報活動

---

**2015年1月30日**

**公益財団法人 日本適合性認定協会**

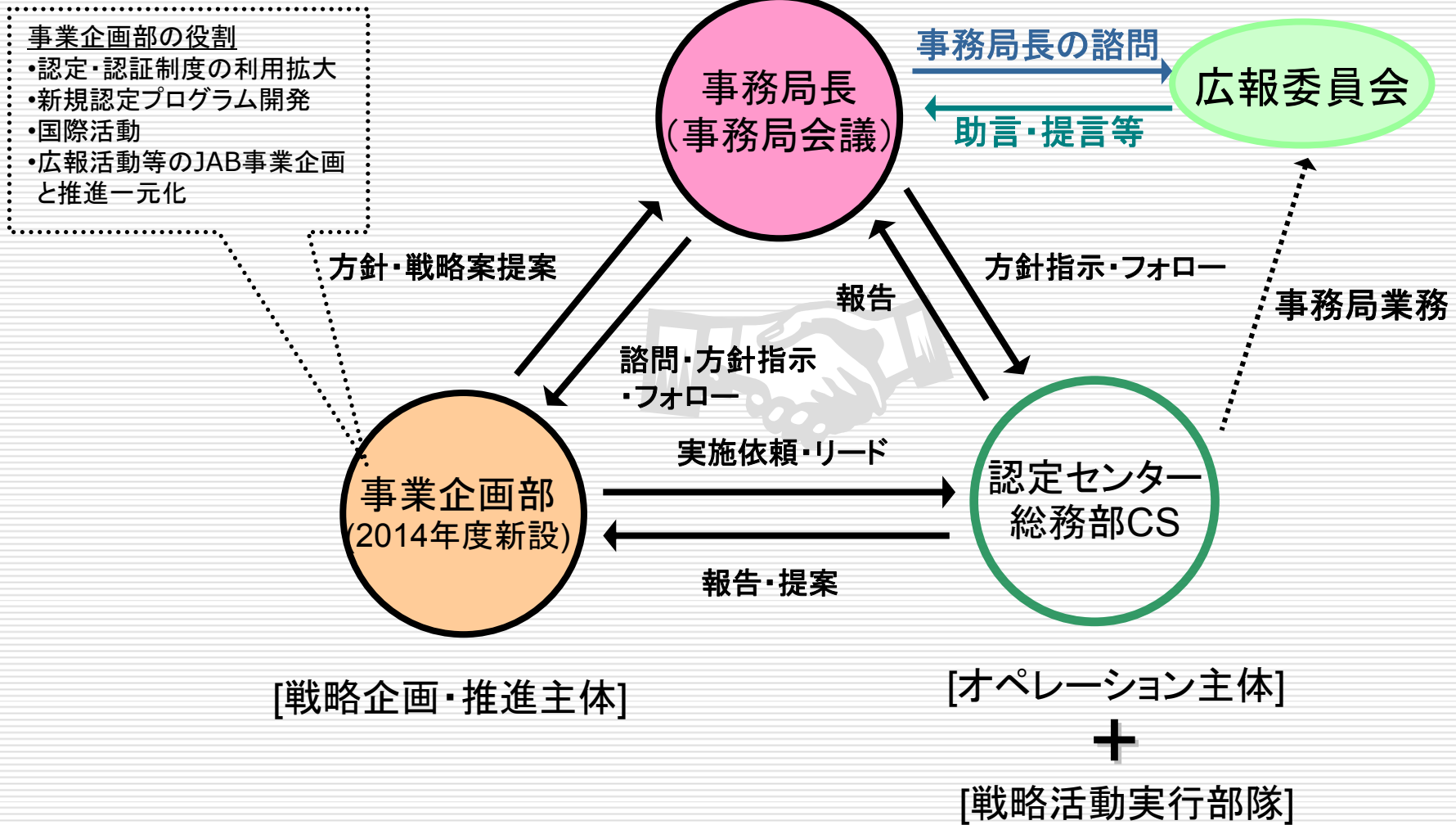
**総務部**

# JAB広報活動の方針



- 認定・認証制度の利用価値に関する理解を促進する
- 社会への説明責任を果たし、社会との連携を図る
- 制度利用者の開拓等の普及活動を行う

# 広報体制



# 新・JAB広報委員会 発足 2014.5～2015.3



- これまでの意見交換を通して決定した事項を受け、より具体的なテーマを議論する委員会を新たに編成
  - 専務理事・事務局長の諮問機関である点は同様
  - 活動期間を1年に限定し、集中的に議論する
  - JAB事務局が作成した実行可能な広報活動計画に対し、そのスタートポイントやマイルストーンで意見・助言を求めていく形式
  - 提言の種類・分野に応じ、2つの委員会を設定。各5名で構成
- 
- ◆ A.企業対応広報委員会
    - ✓ 企業への認証・認定の価値を訴求するプロモーション活動展開
  - ◆ B.消費者・メディア対応広報委員会
    - ✓ 一般社会のISO認知度向上を狙った普及啓発活動の展開

# 2014年度広報活動(重点項目)



JAB

## A. 産業界へ向けたISOの価値を訴求するプロモーション活動展開

### A-1.既取得企業

取得維持、返上の予防

<活動項目>

- 表彰制度確立
  - 表彰対象企業事例の収集 等
- ⇒**認証価値の再発見、確認**

### A-2.未取得分野・企業

取得の価値、メリット、効果を訴求

<活動項目>

- 新分野・企業の割り出し、優先順位の選別
  - 有効な価値提示・アプローチ方法の選定
- ⇒**新分野拡大、認証数の増加**

## B.一般社会のISO認知度向上を狙った普及啓発活動の展開

### B-1.情報発信

ISOを全く知らない消費者を対象に様々なメディアの手法を使った効果的かつ継続的な活動方策を検討

<活動項目>

- AC応募
- 記者懇談会 ⇒**一人でも多くの認知**

### B-2. サポーター創り

左欄の活動、コンタクトを通して本協会活動の支持者を創出、自らの活動の中で社会での必要性、企業の取得を唱える仕掛作り

<活動項目>

- 団体幹部への説明、活動への参画
- ⇒**ISO既得業界及び未取得分野にISOの取得の必要性を消費者側から求める運動起こし**

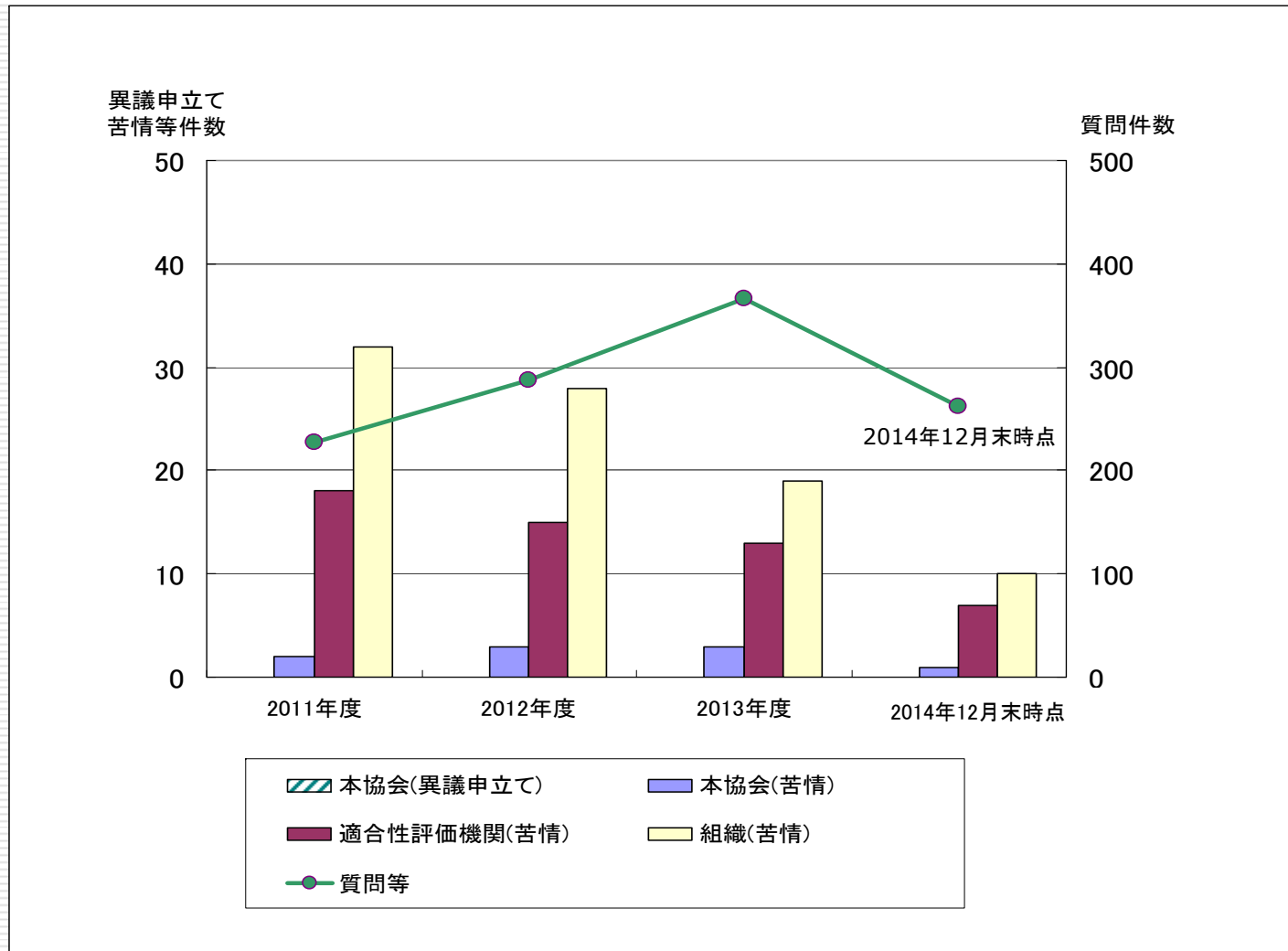
# JAB表彰制度「JABアワード」開始



- 表彰実施の趣旨：
  - 認定・認証制度のさらなる発展を目指し、表彰制度をスタート
  - 表彰事例を広く発信し、組織各位が継続的に認証を維持することの価値を再発見してもらうとともに、あらゆる関係者の新たなモチベーションを喚起する
  - 本年度は、マネジメントシステム認証取得組織の声を聞くため、マネジメントシステム認証取得組織の有効活用事例を集め、優れた内容に対して表彰を行う
  
- 応募の対象：
  - JABの認定を受けている認証機関によるISO 9001 または(および) ISO 14001 認証組織で、かつ1回以上の更新審査を経験している組織の「ISOマネジメントシステム有効活用事例」
  
- スケジュール：
  - 応募期間:2014年10月1日～11月30日
  - 選考期間:2014年12月1日～2015年2月
  - 結果発表:2015年2月末 JABウェブサイト／プレスリリース
  - 表彰式 :2015年3月19日(木)JABマネジメントシステムシンポジウム内にて実施
  
- 表彰、報奨等：
  - 優秀な事例に賞金、表彰状、楯
  - 事例発表会の開催
  - 本協会広報による有効活用事例の公開
    - 表彰された有効活用事例を広く波及するため、外部メディア及びJABウェブサイトにて詳細を公開、取得のメリット・効果、継続性の意義等を発信

# 異議申立・苦情・質問等件数推移

(2015年1月1日現在)



# 2014年度 異議申立・苦情／質問の傾向等



## 1. 苦情件数

- 年々減少傾向
  - ➔ 2011年度 52件
  - ➔ 2012年度 46件
  - ➔ 2013年度 35件
  - ➔ 2014年12月末まで 18件
- 一般消費者の苦情(組織、認証機関に対し)および組織不祥事のマスコミ報道が減少したことによる

## 2. 質問の傾向

- 海外との取引に関連する試験所認定申請について
- 認定・認証審査内容
- 官公庁/地方自治体からのISO 14001認証件数提供依頼



ご清聴、ありがとうございました

